

[成果情報名] ウンシュウミカン「させぼ温州」のβ-クリプトキサンチン含有量

[要約] ウンシュウミカン「させぼ温州」のβ-クリプトキサンチン含有量は、シートマルチ栽培およびヒリュウ台により含有量が向上する。シートマルチ栽培では「させぼ温州」カラタチ台のほうが「石地」ヒリュウ台より含有量が多い。

[キーワード] ウンシュウミカン、させぼ温州、β-クリプトキサンチン

[担当] 長崎県農林技術開発センター・果樹・茶研究部門・ビワ・落葉果樹研究室

[連絡先] (代表) 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 指導

[作成年度] 2017 年度

[背景・ねらい]

ウンシュウミカンには骨の維持に有用であるβ-クリプトキサンチンが多く含まれ、国民の健康に寄与することが期待されている。そこで、長崎県オリジナル品種「させぼ温州」のβ-クリプトキサンチン含有量を調査するとともに、他品種と比較する。

[成果の内容・特徴]

1. 「させぼ温州」のβ-クリプトキサンチン含有量は、露地よりシートマルチ栽培が多く、シートマルチ栽培ではカラタチ台よりヒリュウ台のほうが多い(表1)。
2. 「させぼ温州」カラタチ台のシートマルチ栽培のβ-クリプトキサンチン含有量は、「石地」ヒリュウ台のシートマルチ栽培よりも多い(表2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 調査果実は農林技術開発センター果樹・茶研究部門(大村市)の圃場で栽培されたものを用いた。
2. 骨の健康維持・増進に有効なβ-クリプトキサンチンの摂取量は、1日あたり3mgとされている。

[具体的データ]

表 1 「させぼ温州」の栽培方法および台木の違いによるβ-クリプトキサンチン含有量 (2017)

栽培方法	台木	調査 点数	果皮色 (a*) ^y	糖度 (Brix)	β-CRP含有量 (mg/100g果肉)
マルチ	ヒリュウ台	12	26.3 a ^z	14.6 a ^z	2.04 a ^z
マルチ	カラタチ台	13	27.4 a	13.9 a	1.90 a
露地	カラタチ台	14	26.0 a	11.9 b	1.64 b

^zTukey-Kramer 検定により異なる縦のアルファベット間には5%の有意差あり

^y果実赤道部4箇所の平均値。a*は数値が大きいほど赤みが強いことを示す

表 2 「させぼ温州」および「石地」のβ-クリプトキサンチン含有量 (2016)

品種	栽培 方法	台木	果皮色 (a*) ^y	糖度 (Brix)	糖度別β-CRP含量 (mg/100g果肉)				
					平均	~12	12~13	13~14	14~
させぼ温州	マルチ	カラタチ台	24.4 a ^z	15.2 a ^z	2.25 a ^z	-	-	1.73	2.36
させぼ温州	露地	カラタチ台	17.6 b	11.0 c	1.47 b	1.46	1.71	-	-
石地	マルチ	ヒリュウ台	24.6 a	13.7 b	1.36 b	-	0.96	1.34	1.57

^zTukey-Kramer 検定により異なる縦のアルファベット間には5%の有意差あり

^y果実赤道部4箇所の平均値。a*は数値が大きいほど赤みが強いことを示す

[その他]

研究課題名：おいしい・‘機能性成分高含有’県産農産物の探索、育成、販売プロジェクト

予算区分：県単

研究期間：2015～2017年度

研究担当者：河原幹子、山下次郎